

キトラ古墳壁画の体験学習館での保存活用について

- キトラ古墳の壁画については、平成21年8月4日の「古墳壁画保存活用検討会」（第6回）において、恒久的な保存を図る観点から、環境を制御しながら安全に保存管理できるよう、「当分の間、石室外の適切な施設で保存管理しながら公開するものとする」との方針が決定された。
- 当該方針に基づき、設備・条件等については、「文化財公開施設の計画に関する指針」の考え方や意図、内容等を十分に反映し、平成24年度までに基本設計・実施設計を行った。
- 「壁画保存管理施設」は、国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区に整備される「体験学習館」の地上1階部分に設置される。壁画保存管理施設には、キトラ古墳壁画を保存管理する壁画保管室、古墳より出土した副葬品等を保存管理する出土品保管室、保存管理する壁画をそのまま見学できるのぞき窓が設置された展示室等の諸室が配置される。
- 平成28年度の供用開始を予定している。



壁画保存管理施設のイメージ



展示室のイメージ

キトラ古墳壁画保存管理施設 概要

延べ面積	487 m ²
構造	鉄筋コンクリート造，地上1階地下1階中，地上1階部の一部
展示室	54 m ²
壁画保管室	98 m ²
出土品保管室	39 m ²
学芸室	14 m ²
トラックヤード	48 m ²
機械室	75 m ²
ボンベ庫	15 m ²

壁画保管室・出土品保管室・展示室について

空調設備	温度 夏期 24℃ 冬期 21℃
	湿度 55%
	24 時間独立空調
照明設備	主要照明は LED を使用，照明は 25~100% の範囲で調光可能
消火設備	不活性ガス（IG-541）消火設備